

社会福祉法人 共生会 虐待防止委員会 運用指針

(委員会の目的)

第 1 条 虐待防止委員会は、利用者の安全と人権保護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることはないよう、定期的に又は適時、委員会を開催し、虐待の防止に努めることを目的とする。

(委員会委員の選出)

第 2 条 委員は以下のとおりとする。

- 1) 委員長は、虐待防止責任者とする。
- 2) 委員には、各事業所責任者とする。
- 3) 委員には、必要ある場合に、苦情解決第三者委員等を加えることができる。

(委員会の開催)

第 3 条 委員会の開催を次のとおりとする。

- 1) 委員会は、虐待防止に関する法人事業所内での協議事項が生じた都度に随時開催する。
- 2) 法人事業内で虐待事例が発生した時には必ず開催する。
- 3) 会の開催の必要があるときは、委員長が招集し開催する。

(委員会の実施)

第4条 委員会は次のとおり実施する。

- 1) 社会福祉法人共生会会訓を職員に周知し、行動規範とするよう啓発する。
- 2) 「虐待の分類」について、職員に周知することと、定期的な見直しを行い、疑いのある項目を足していく。
- 3) 障害者虐待防止に伴う従業員への研修を行い、日頃から虐待への意識を高める。
- 4) 虐待や虐待の疑いがあるときは、虐待防止受付担当者に報告する。
- 5) 虐待防止に係る研修を年1回以上行うこととする。
- 6) 事故等の問題が虐待につながるような場合は、虐待防止委員会において対応する。
- 7) その他、法令及び制度の変更のあるごとに委員会を開催し、規定等の見直しを行うこととする。

-

(委員会の責務)

第5条

- 1) 委員会は、虐待が起こらないよう事前の措置として、職員の虐待防止意識の向上や知識を周知し、虐待のない施設環境づくりを目指さなければならな

い。

2) 委員は、日頃より社会福祉法・知的障害者福祉法のみならず障害者自立支援法や障害者の権利宣言等の知識の習得に努めるだけでなく、人格（アイデンティティー）の向上にも努めるものとする。

3) 委員会の委員長・委員は、日頃より利用者の支援の場に虐待及び虐待につながるような支援が行われていないか観察し、必要があるときは職員に直接改善を求めたり、指導することとする。

4) 委員会は、各事業所とも連携をとり利用者の虐待の疑いのある事案や支援等に問題がある場合は、各事業所と協議し、協同で会議を開催する等、虐待防止の対応・対策及び改善を図るものとする。

虐待防止委員会名簿

役職

委員長 梅本 昌秀（虐待防止責任者）

委員 金谷 大輔（虐待防止受付担当者）

委員 井上 誠（虐待防止受付担当者）

委員 鞍掛 太郎（虐待防止受付担当者）

第三者委員 岩瀬 貴子（活水女子大学教授）

第三者委員 満島 貫二（社会福祉法人共生会 監事）

第三者委員 松崎 勉（社会福祉法人共生会 監事）

★ 虐待内容及び通報状況によって委員は変更することがある。

★ 第三者委員は、被虐待者及び保護者、通報者からの同意に基づき介入する。